

生涯学習グループ

子供たちの放課後の居場所づくり ～「地域子ども教室推進事業」から～



放課後、ランドセルを背負った子供たちが、校舎1階の『子ども教室』(空き教室利用)に集まってきた。

「さあ始めるよ。」という地域の指導員の方のかけ声で、子供たちは、今日は何が始まるのか興味深そうに教室の床に座った。この日の読み聞かせは、指導員の“かっちゃん”(子供たちはそう呼ぶ)が当番である。指導員が輪番制で選書し、読み聞かせを行っているという。絵本を一冊読み終えると、この日の活動である「さつまいも植え」の仕方を説明した。そして、子供たちは、出欠の確認も兼ねる手作りの名札を胸に付け、準備してきたペットボトルに水を入れ、さつまいもの苗を植える近く

の畑へと向かった。子供たちの列の前後に指導員が付いて歩き、横断旗をもった安全管理担当の指導員は、前もって横断歩道で待っていた。

畑に着き、“かっちゃん”の家で育てた苗を子供たちに配ると、思い思いに土を掘って苗を置き、ていねいに土をかぶせた。「秋になったら、どんなふうにして食べる？」と指導員。「僕、焼き芋。」「私、スイートポテト。」と子供たち。

毎週金曜日の放課後に、新巻小学校内の『子ども教室』で行われている委託事業『地域子ども教室推進事業』への参加登録児童数は、約80名にもなる。新治村では今年度、全小学校の協力を得て、本事業が進められている。管内でも、13の小学校と連携を図り、地域の大人の協力を得て『子ども教室』を実施することとなっている。

社会環境の変化により、子供たちの自然体験や生活体験の不足、また、子供同士のかかわりや大人と子供のかかわりの不足などが指摘されており、子供たちに多様な体験等の機会を提供することが喫緊の課題となっています。本事業は、学校の空き教室等に安全・安心な子供たちの居場所を設け、地域の大人の協力を得て、放課後や週末に地域に根ざした様々な体験活動や交流活動等の機会を提供し、子供たちの豊かな人間性や社会性を養うとともに、地域全体で子供を育む環境を充実させ、地域の教育力の再生を図ることを大きなねらいとしています。

『子ども教室』を実施している学校や地域におきましては、本事業の趣旨をご理解の上、ご協力いただくとともに、この事業が、管内にさらに広まっていこう利根教育事務所としても支援していきたいと考えています。

